



伊予三島ロータリークラブ



No. 5
令和 5. 8. 4
第 3363 回



「シャインマスカットとリバーシブルマフラー」 坂田 瑞来



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度国際ロータリー会長
Gordon R. McNally (ゴードン R. マッキナリー)

事務局	四国中央市金生町下分789-1	四国中央商工会議所内
	http://www.iyomishima-rc.jp	TEL (0896) 58-3530
	E-mail: iyomis@iyomishima-rc.jp	FAX (0896) 58-6294
例会	金曜日 12:10~13:10	
■会長	渡邊吉和	■幹事/別府 偉
		■会報委員長/村上泰史

会員増強・職業分類委員会

委員長 井 原 伸



職業分類制度に関する文献より（抜粋）

ロータリークラブの基本的原則として、長年守られてきた一人一業種制度も、時代の流れとともに徐々に枠が広げられ、遂に 2001 年の規定審議会で、会員の種類が正会員と名誉会員に統合されると共に、一人一業種による職業分類制度が廃止され、50 人以下のクラブは 5 名、それ以上の会員数を待つクラブは 10% 以内の同一職業分類を持つ会員の入会が認められるようになりました、それに従って、同じカテゴリーに属する職業は、10% 以内という制限も撤廃されました。

ロータリークラブの設立の発端となったのは、大都会における過酷な自由競争の中で、心に安らぎを与える真の友情を得ることでした。従って、同業者がいるとお互いに利害関係が生じ、親睦が阻害されると考えて「一人一業種による職業分類制度」が採用され、さらに継続した友情を期待するための「定期的な例会出席」が、欠かすことのできない必要条件であると考えました。

親睦を保つために同業者を排除するという慣行が続く中で、会員自らが親しい関係にある同業者を推薦するのならば、クラブ内の親睦を崩すことはないという考え方が起こってきました。

職業分類制度そのものにも大きな変化がありました。

従来は、R I が作った標準職業分類表をそのまま採用しなければならず、各クラブは勿論、国家や地域としての特殊性も無視される弊害が指摘されていました。例えば、「日本刀研磨」とか「ベネチアングラス製造」という職業が芸術と文化性の高い職業だと主張しても、R I の職業分類にないという理由から、ロータリアンになることはできませんでした。

1968 年、多くのクラブから寄せられる非難に対して、R I 理事会は一方的に職業分類表の管理を放棄して、その作業をクラブに任せるという措置にでました。

クラブの自治権の拡大と言えば聞こえは良いですが、ロータリー運動を成立させる必要条件の一つである一人一業種性の前提となる職業分類をクラブの自由にするには、R I の直接管理権の放棄として、その責任は重大と言わざるを得ません。

国や地域にとって、特殊な職業があることは当然のことですし、会員増強の前提となる職業分類表には、固有の文化を尊重し、世の有意な職業の全てが網羅されるべきです。その情報を R I 本部に伝えるために地区ガバナーが存在することを考えれば、すべての職業を網羅し、更に毎年その内容を更新した職業分類表を作成して、職業分類を標準化することこそ、R I の重要な仕事ではないでしょうか。

上記の文章は、興味深い箇所のみ抜粋してつなぎ合わせていますので、一部、読みづらくっており申し訳ありません。

伊予三島ロータリークラブには現在、106 の職業分類があります。会員数を見ると当然ですが 35 が充填（同分類も充填とみなす）、71 が未充填です。これを踏まえて、職業分類制度をどう考えるべきなのか。歴史や経緯については上記の文章に述べられており、なんとなく理解はできますが、現実的に会員増強とどのように整合性を取っていくのか、難しいと思います。

ロータリークラブ会員としてふさわしい人は、たとえ同業種の会員がいても、クラブにとってマイナスの効果をもたらすことは考えられません。そもそも、そういう要素がある人は入会に至ることないでしょう。会員増強を強く推し進めるのは当然として、できれば 71 の未充填の職業の方に多く入会いただくというのが理想でしょう。多岐に渡る職業人によって構成されるクラブは、当然ですがポテンシャルも高く、会員間の親睦や奉仕活動においても大きな相乗効果が望めます。

全員参加の会員増強を、今年度も推進したいと考えていますが、できれば職業分類についても意識して頂き、クラブ一丸となって活動できればと思います。1 年間、宜しくお願い申し上げます。

2023-2024年度国際ロータリー2670地区 インタラクティブクラブ年次大会を終えて

2023-2024年度インタラクティブ小委員会
委員長 高岡 淳（伊予三島）



2023年7月29-30日（土・日）“Start 動きだそう！～SDGs、実践の可能性”をテーマに今治明德高等学校矢田分校インタラクティブクラブ主幹で今治明德短期大学大講義室・F C 今治里山スタジアムにおいて2日間の日程で年次大会が開催されました。地区内インタラクティブクラブ19校より生徒さん110名・顧問の先生26名・地区役員18名・地区内参加ロータリアン27名・地区外参加ロータリアン2名・ホストロータリークラブ（今治クラブ）49名・事務局2名・合計234名の参加で行われました。

この間コロナウイルスの為に中止やビデオ作製・Zoom等になり一堂に会しての開催は4年ぶりでしたので、もの凄い熱気を感じる大会になりました。また、主幹の今治明德高等学校矢田分校は来年度からF C 今治高等学校里山校と学校名を改めるため、本大会が今治明德高等学校としての最後の記念すべき大会になりました。

29日土曜日は今治明德短期大学大講義室において、開会式・基調講演・夕方よりF C 今治里山スタジアムにおいてF C 今治ホーム戦（F C 今治 V S テゲバジャーロ宮崎）観戦、翌30日日曜日はF C 今治里山スタジアムにおいて、生徒さんが各校バラバラになり16班に分かれてスタジアムツアー及びワークショップ“自然と人間が共生し365日賑わう街作りの核となるスタジアム作りをするには”についてディスカッションを行いました。

開会式では、来賓の徳永繁樹今治市長様が挨拶の中で“市民が真ん中”の街づくりについての様々な施策を述べられました。基調講演はF C 今治の運営会社、株式会社今治。夢スポーツ代表取締役社長

矢野将文様が“F C 今治の挑戦”と題して、どのような会社を目指しているのか話をされました。“次世代のため、物の豊かさより心の豊かさを大切にする社会創りに貢献する”という企業理念を作成し、サッカーを基本として、様々な教育・研修活動も盛んに行っている事、“次世代の社会変革者を今治から”を目指し、今の時代に合った教育をする・圧倒的な実践を経験するためにF C 今治高等学校を、今治明德学園と共に開校する運びとなった事、“その場に居合わせたからこそ、動き出そう。”の言葉を大切にしている事等話されました。基調講演は、岡田武史株式会社今治。夢スポーツ代表取締役会長様と二人で行う予定でしたが、岡田武史会長様が体調不良のために欠席され一人での講演になりちょっと残念でした。夕方からのF C 今治のホーム戦は年次大会参加者の熱気がF C 今治の選手達に伝わったのか3－0で圧勝・勝利しました。徳永繁樹今治市長も観戦に来られていて“インターアクトクラブとロータリークラブの皆さんの応援が勝利を導きました。”と言ってくれました。当日の来場者数は3, 4 0 0人と発表されたと思います。

翌日のワークショップでは、1 6 班に分かれて他校の生徒さんと“里山スタジアムを3 6 5 日賑わう場所にするには”をテーマに、ディスカッションをしました。各テーブル6～7人の小グループですが、時間がたつにつれて各テーブルの声が大きくなっていきました。テーブル毎にアイデアをまとめてみんなの前で発表しました。トータル2時間ほどですがいろいろなアイデアの発表や役割分担などを決めていくうちに、テーブル毎に他校の友人ができたことと思います。こんな体験も今回のように一堂に会しないと出来ない事です。ワークショップの講師（里山スタジアムの経営企画室統括）中川寛之様も、“1 0 0 人近い生徒さんの前で、自分たちの意見を発表する機会はなかなかありません。この経験をぜひ今後に生かしてほしい。”と言われました。

最後に里山スタジアムのメイン席で閉会式を行いました。閉会式では次年度年次大会開催校松山中央高等学校インターアクトクラブ代表横山芹奈さんが“来年松山の地で多くのインターアクターをお迎えし、楽しんでいただける企画を検討中です。”と歓迎の挨拶をして終了しました。

インターアクターの生き生きとした笑顔を見るとインターアクトクラブって凄いなあと感じました。また、参加した多くのロータリアンもインターアクターの熱気を感じて元気を貰ったのではないのでしょうか。今治明德高等学校矢田分校インターアクトクラブの皆さんのおかげで素晴らしい年次大会となりました。ありがとうございました。

第3363回

例会記録

令和5年8月4日

開会 渡邊吉和 会長	例会行事 会員増強・職業分類委員会 井原 伸 委員長
出席報告 出席会員（35名中） 30名 出席率 85. 71% 第3361回修正出席率 91. 67%	ニコニコ紹介 井原 伸会員増強・職業分類委員長～ 本日の例会行事を担当させていただきます。会員増強・職業分類委員会です。よろしくお願い致します。
会長の時間 ○誕生日御祝 井川 正君（ 8日）、佐々木弘実君（14日） 金崎 敏明君（23日）、鈴木 和範君（28日） 竹本 哲也君（30日）、山中 泰典君（31日） 園部裕美子様（15日）	誕生祝～佐々木弘実君、金崎敏明君、竹本哲也君、 山中泰典君、園部裕美子様

幹事報告 ・ガバナー事務所～ガバナー月信8月号 ・四国中央市国際交流協会～会報誌8. 9月号	8月25日プログラム予定 社会奉仕委員会 (定例理事会)
--	--